

【家庭用蓄電池 | 利用者アンケート調査レポート】

本レポートは、家庭用蓄電池の「国の補助金」に関する利用者アンケートを基に、多角的な視点で分析しました。

以下はアンケート調査の結果とその概要です。

アンケート調査目的	国の補助金に関する調査
アンケート対象者	家庭用蓄電池の利用者
アンケート方法	クラウドワークス
アンケート調査人数	30名
アンケート実施日	2026年1月9日
アンケート調査地域	日本

■回答者属性

- 性別

- ・女性:50%
- ・男性:50%

- 年代

- ・20代:10%
- ・30代:40%
- ・40代:33%
- ・50代:17%
- ・60代以上:0%

- お住まいの地域

- ・愛知:13%
- ・大阪:13%
- ・東京:10%
- ・福岡:10%
- ・京都:7%
- ・兵庫:7%
- ・北海道:3%
- ・宮城:3%
- ・茨城:3%
- ・群馬:3%
- ・埼玉:3%
- ・千葉:3%
- ・神奈川:3%
- ・富山:3%
- ・岐阜:3%

- ・滋賀 : 3%
- ・広島 : 3%
- ・長崎 : 3%

■ 国の補助金に関する具体的なご感想

※以下、回答全文

- ・国の補助金については、正直なところ申請手続きは少し面倒に感じました。
- ・私たちが購入した当時は、太陽光発電と合わせて三分の一ほど国からの助成があったと思います。資金面ではかなり助かりました。
- ・国の補助金は申請書類が多く、個人で手続きするのは少し大変でした。ただ、施工業者がほとんど代行してくれたので、実際の負担はそこまで大きくありませんでした。
- ・国の補助金は申請書類が多くやや複雑でしたが、施工業者が一括でサポートしてくれたので問題なく手続きできました。
- ・補助金により初期費用の一部が軽減され、導入を前向きに決める大きな後押しになりました。
- ・国の補助金は金額が大きく魅力的な反面、条件や申請手続きが複雑で、対象外になると結局もらえず残念でした。
- ・国の補助金はありませんでしたので未使用です。
- ・国の補助金は書類が多く少し手間に感じましたが、業者がほぼ代行してくれたため負担は少なかったです。審査自体は厳しすぎる印象はなく、条件を満たしていれば問題ありませんでした。
- ・結果的に数十万円分の補助が受けられ、初期費用の軽減にかなり助かりました。
- ・国の補助金を利用し、約30万円の補助を受けました。書類は多く手続きは正直面倒でしたが、業者が申請を代行してくれたため助かりました。
- ・補助金がなければ導入を迷っていたと思うので、資金面でかなり後押しになりました。
- ・国の補助金は業者が申請を代行してくれたため、手続き自体に手間はかかりませんでしたが、予算枠が埋まるのが非常に早かったです。
- ・申請から交付決定まで数ヶ月かかるため、余裕を持った計画が必要だと感じました。
- ・数十万円単位の還付があったおかげで、導入時の資金的なハードルは大幅に下がりました。
- ・国の補助金は業者さんがほとんど手続きを代行してくれたので、思っていたよりも簡単でした。
- ・審査も特に厳しい印象はなく、スムーズに進みました。

- ・補助金のおかげで初期費用がかなり抑えられたので、家計的には本当に助かりました。
- ・自分で調べるのは大変なので、補助金に詳しい業者さんを選ぶのがポイントだと思いました。

■ 総括

国の補助金については、金額が大きく初期費用の負担軽減に大きく貢献したという声が多く見られました。

一方で、申請書類の多さや手続きの煩雑さを負担に感じる意見もあり、施工業者による代行の有無が満足度を左右しています。予算枠や申請時期の管理が重要だといえます。

制作:ハピネスマガジン